

- ・よく考え広い視野を造る人
- ・力を合わせゆたかな心情を育てる人
- ・すすんでたくましい身体を鍛える人



『「男らしさ・女らしさ」って?』

校長 林 稔晃

公共広告機構（ACジャパン）のCMで、

- ① 「オギャー オギャー」
「はいは〜い 今行くね〜 よしよし」
- ② 「わが社の経営方針を発表します」
- ③ 「ご飯だよ〜」
- ④ 「将来の夢はパイロットです」
- ⑤ 「支払い カードで」
- ⑥ 「ピンクのがいい」
- ⑦ 「サッカーしようよ〜」
- ⑧ 「子供が熱を出したので 有給取らせてください」

「聞こえてきたのは、男性の声ですか？女性の声ですか？」

【無意識の偏見に気づくことから、はじめませんか。】

というCMを見たことありませんか？

このCMを見て、「ジェンダー・フリー」が叫ばれている昨今、残念な自分に気づきました。本を読み、考えをアップデートしてきたつもりでしたが、これまでの刷り込みはなかなか消えないようです。

そんな時偶然に、大学で性教育の研究をしている、いとこの子から著書が送られてきました。

「男らしさ・女らしさ」って？

〔抜粋〕

子どもたちは意識するしないにかかわらず、生まれてきたときから「男らしさ」「女らしさ」を身につけながら育っています。そういう社会、文化の中で育ってきた大人たちによる育児、教育を受けるので、当たり前のこととして身につけ、それをまた次世代に受け継いでいきます。

しかし、固定的な性別役割にとらわれることにより、生きることそのものが苦しくなる、辛くなるということがあるのも事実です。だから、子どもたちには当たり前だと思っている「らしさ」について本

当に当たり前なのかどうか、自分は本当はどうか、自分の周りの人たちはどうか、早い段階から考えさせることが大切です。

子どもたちの教育、保育に携わる教員、保護者は、自分自身がとらわれている“らしさ”に気づき、子どもたちには“らしさ”にとらわれない生き方ができるような関わりが求められます。

「男だから」「女のくせに」というようなことをばあからさまに口にしなくても、男はこうあるべき、女はこうあるべきということにとらわれていると、思わぬところで言葉や態度に表れたりするものです。

これがいわゆる「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」と言われるもので、子どもたちには自分に関わる大人たちの考え方が知らず知らずのうちに刷り込まれていくのです。

「ユニセックス」や「ジェンダーニュートラル」といった言葉が様々な場面で見られるようになった現代では、男性と女性の行動様式が似てきている部分も多くあり、一方で様々な個人差も意識されるようになってきた中で、“らしさ”をめぐる価値観や感覚は時代と地域により大きな違いがあることも理解することができます。それだけに、育ちの中で身につけたり、身につけるよう求められた“らしさ”が、自分本来の“らしさ”であるのかどうかを意識したいと思います。

ある知り合いが、「パートナーと・・・」と言っていました。嫁さんや旦那、彼氏や彼女ではなく。

この言い方、敬意を表す最もふさわしい言い方かもしれません。そんな考え方をできる方が増えたらいいですね。



文化祭 10月7日(土)
テーマ「開花」〜輝く1日へ〜

1年「シン・デレラ」、2年「白雪姫」、3年「最高の3年生番組」の創作劇を熱演。文化部によるミュージックケル演奏と打楽器合奏を計4曲、全校合唱では竹内結人さん（3年）指揮で、「自分らしく」「名づけられた葉」の2曲を工藤希美さん（2年）、佐々木心優さん（2年）のピアノ伴奏で演奏しました。保護者の皆様、地域の皆様、ご観覧ありがとうございました。

中文連英語暗唱大会

10月13日(金)ニセコ町文化センターにて開催された中文連英語暗唱大会に、増井寧々(2年)さん、工藤希美(2年)さん、泉祐成(3年)さん、齊藤太慳(3年)さんが出場し、練習の成果を発揮しました。



ほぷらコンサート

10月17日、音楽の授業の一環として、道内の小規模校を訪問し音楽のすばらしさを届ける活動をしている『旅する合奏団』を招き「ほぷらコンサート」が体育館で行われました。モーツァルトの「アイネクライネナハトムジーク」やヴィヴァルディ「四季」より「春」、などクラシックの名曲を中心に弦楽合奏を鑑賞しました。また、弦楽を伴奏に校歌斉唱や、三年生へのバイオリンなどの楽器の演奏体験、文化部への演奏アドバイスなどを通して、本物の音楽を身近に感じた一日でした。



琴の授業(1, 2年)

10月24日(火)音楽の授業の一環として、「ことねの会」金石澄子先生をお招きし、体育館で琴の授業を通し、「さくらさくら」「荒城の月」の合奏を通して、伝統音楽に歴史や実際の演奏について学びました。



3年 総合的な学習の時間のまとめ

村長講話

10月17日(火)佐藤ひさ子村長から、村の未来を担う本校生徒に昔の留寿都の話を交えながら現在そして今後の村づくりの方向性について講話がありました。



村長へのプレゼンテーション

10月27日(金)体育館にて、グループごとに具体的に練り上げた「留寿都村の未来像」を村長へプレゼンテーションすることで、郷土への興味関心を強く持ち、さらに視野を広げ、自分の将来について関心を持つことができました。



国際理解・国際協力のための作文コンテスト特賞受賞

夏季休業の国語の課題で出品した、日本国際連合協会主催第32回「国際理解・国際協力のための作文コンテスト」で泉祐成さん(3年)が特賞である北海道知事賞を受賞しました。10月24日(火)京王プラザホテル札幌で開かれた国連デー記念講演会で受賞作を朗読し披露しました。



「火災予防ポスター展」佳作受賞

羊蹄山ろく消防組合主催火災予防ポスター展に高橋虹幸さん(1年)が佳作を受賞しました。



生徒総会

10月26日(木)生徒総会が行われ、前期反省と後期の計画について質疑が行われました。自分たちの学校生活について生徒たちがどう考えどう行動するかを考える契機となるよう後期のみなさんに期待しています。



授業参観週間

10月24日(火)～27日(金)授業参観週間に多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。

日	曜	11月行事予定	部活動	給食	バス	
					1便	2便
1	水		○	○	15:40	17:00
2	木	防犯安全教室(1年) 携帯安全教室(2年) 薬物乱用防止教室・アルバム写真撮影(3年) 後期常任委員会 PTA冬囲い 定時退勤日	×	○	14:30	—
3	金	文化の日				
4	土					
5	日					
6	月	全校集会 保護者進路説明会 PTA三役会議	○	○	15:40	17:00
7	火		○	○	15:40	17:00
8	水	学力テストC(3年) 学力テスト(1, 2年)	○	○	15:40	17:00
9	木	避難訓練 定時退勤日	×	○	14:30	—
10	金	中文連音楽祭(岩内町) スクールカウンセラー来校日	○	○	15:40	17:00
11	土	1年学級レク				
12	日					
13	月	放課後学習会 テスト3日前	×	○	15:40	17:00
14	火		×	○	15:40	—
15	水	栄養教諭訪問	×	○	15:40	—
16	木	期末テスト 職員会議 定時退勤日	×	○	13:30	—
17	金		○	○	15:40	17:00
18	土	第51回後志少年少女卓球大会(蘭越)				
19	日					
20	月	PTA役員会(予定)	○	○	15:40	17:00
21	火		○	○	15:40	17:00
22	水	研修日 定時退勤日	×	○	14:30	—
23	木	勤労感謝の日				
24	金		○	○	15:40	17:00
25	土	2年学級レク				
26	日					
27	月	後期常任委員会 スクールカウンセラー来校日	○	○	15:40	17:00
28	火	三者面談(3年) 保護者面談(1, 2年)	○	○	15:40	17:00
29	水		○	○	15:40	17:00
30	木		○	○	15:40	17:00

(留意点) 放課後部活動・諸活動 給食
 ○実施 ×全学年なし ▲3年のみなし
 △2年のみなし ▽1年のみなし

北田隆義スクールカウンセラー来校予定(11月以降)

11月10日(金)・27日(月) 12月8日(金)・19日(火) 1月19日(金)

相談を希望する中学生は、来校日に、気軽に1階多目的室を訪ねてください。また、留寿都小・留寿都中の保護者・児童で面談を希望される方は各校の教頭までお知らせください。日程を調整いたします。